



＝ いまの憲法が私たちの暮らしを護る ＝

参議院選挙 投票用紙は二枚

政治が暮らしの隅々まで

参議院選挙が始まりました。関心が大きく高まることを願っています。なぜかと言えばこの先三年間は国政選挙の予定は無いと思われるからです。この三年間は安定した政治ができる反面、為政者にとっては政策を強権的に推し進め実現させる時間を十分与えられるということになるからです。

自民政治では現状維持もできず

これまでの国政選挙の投票傾向を大まかにいえば与党支持が3、野党2そして棄権が5でした。約半数の有権者が投票していません。その結果自民党の政策がここ数十年に渡り施行され、それを私たちは受け入れてきたわけです。そして25年にも及ぶ深刻なデフレ社会にどっぷりと浸かることとなり、抜け出す見通しも立てられない状況に陥っています。20年間賃金は上がらず、国民

会構造に変えることです。

89年の

消費税率導入は直間比率の是

正をうたい3%から5、8、10%となりました。

一人当たり平均賃金は低下し物価は高まり、さらなる上昇への不安をもたらししています。6月、年金受給者は減額の通知を受け、医療費はまもなく二倍となります。これらの現実を自民支持3、棄権5とした選挙民の判断はどのようにされるのか。「まあ現状でいいか」との声も聞こえそうですが、ここは考えていただきたいところですよ。まず各経済指標を調べましょう。

低落傾向にあり現状維持にはなっていないのです。G7の経済成長率では前年比マイナス5%のどん尻で国民を貧しくしているのが実態です。

消費税廃止、所得増でデフレ脱却

デフレから脱却するにはどうするかを考えます。それには人々の可処分所得を増やすことです。お金を使え、世の中にお金が廻り需要が増える社

自分を活かせる道は

どの国においてもと言いたいところですが、平和国

家日本としての政治が果たすべきことは「戦争しない、国民を飢えさせない、希望を与える」ことではないでしょうか。

ウクライナ侵攻に乗じてある自民参議議員は勇ましく中国、ロシア、北朝鮮への「3正面事態が現実を生起」とブログで発信、今にも戦争が始まるかの雰囲気醸成し防衛費増を訴えています。有事の事態を招けば食料の大半は輸入で自給率37%、

餓えるのは確実でデフレも克服できない政権担当能力では希望をもつどころか絶望するし

ありません。



解決の一途としてこの参議院選挙を唯一の機会と捉えたい。投票用紙二枚にどう書くかです。政治が暮らしの隅々まで影響していることを実感している今、自分を活かせるのは誰でどの党か、二票の結果は三年後に体験することになります。

今月の予定です

皆さん 気軽に参加ください

コロナの感染状況で変更・中止することがあります。

7月3日(日) 13:30～16:30

DVD 視聴と意見交換 「日本人の忘れもの」フィリピンと中国の残留邦人 南部梅郷公民館 南域九条の会

7月9日(土) 13:30～16:00

野田・九条の会 7月例会 意見交換 <映画「教育と愛国」から見る日本の教育> 中央公民館 講座室(誤) 野田・九条の会

7月9日(土) 16:30～17:30

9の日 九条通信配布・ボードでアピール 変更しています。 愛宕駅 広場 野田・九条の会

7月19日(火) 13:30～15:30

ちょっと暖かな「おしゃべりカフェ」 対面でのおしゃべり復活! 北コミセン第2集会所 野田・九条の会

8月7日(日) 13:30～16:30

DVD 視聴と意見交換 性差を超えた闘い「バトル・オブ・ザ・セクシー」 南部梅郷公民館 南地域九条の会

いま私たちは分岐点に立っていると
言われます。いっぱい声が聞こえます。



“ 政府に言いたい、今税金を使うなら防衛費ではなく社会保障、**子育て、教育無償化**に使えと。国民は賃金上がらず年金下がって物価高に、25%が貯蓄ゼロと言う中で新しい資本主義などと株式投資させようとするアベノミクスに輪をかけた愚策にもNOと。

“ 悪しき腐敗した政治の流れを食い止めるのにお金はいらぬ。国民皆が**政治をよく見て**投票所に足を運ぶことだ。これぞ民主主義の基本、日本はファシズム国家でなくなって77年、民主主義の国だ。

“ ロシアが起こした戦争の衝撃は国民に大きな影響を及ぼしている。与党とそれに雷同する政治家たちは、中国、北朝鮮、ロシアを念頭に日本の防衛力強化と**憲法改悪**をこの時とばかり声を強めている。政治は**戦争を起こさない**よう外交力を高める努力こそ求められるのに、核不拡散条約を批准せず非核三原則を無視し、核使用につながる核共有や専守防衛を逸脱する敵基地攻撃力＝反撃能力をもって、敵中枢攻撃、集団的自衛権の行使までも言いだした。一旦事が起これば日本に対する先制攻撃の口実を与え自衛隊基地、東京や、原発が攻撃対象になるだろう。相手が疑念を抱くかも知れない事は言わぬがよい。かわりに言うことは平和憲法のもと「他国に戦争を仕掛けることはない。攻撃されれば防衛する権利を行使する」と。

“ 他国に金をバラ撒くのが外交ではない。政治家も外交官も知性、言葉を磨き、**外交力を磨き**それが仕事だ。



“ マスコミは政権の意向を無批判に垂れ流す。プロパガンダを流す彼の国のメディアを笑えない。テレビニュース、情報バラエティを情報源とする多くの国民も乗せられて追随する。80年前の大本営発表を垂れ流したメディアに反省はない。報道の自由度ランキングは前年より下がって180カ国中71位という酷さだ。このままボーっと座視していると戦争する国に変貌してしまう。ネット上の情報も虚偽や陰謀論などが飛び交い玉石混交で何が正しいのか**見極める力**も求められよう。

“ 状況を変えるには一人ひとりが政局ではなく**政治に何が起きているのか**目を向けて投票に行くことだ。私たちや未来ある子どもたちの命がかかっている。今度の参院選はこの国のあり方を変える分水嶺となるかも知れぬ。最近の投票率が50%を下回る低さにあきれて脱力する。

・弊紙読者には言わずもがなであろうがもう一度言う「投票に行こう」選挙権を得たばかりの若者たちにも呼びかけたい。

新 - 資本主義

小林 繁

年金額の変更通知が届きました。私の年金も減額されました。年間8,454円の減額です。

これまでも減額は有ったのですがまったく気にしていませんでした。ところが突然健康上の理由で3月から職を離れることになり、生活が年金頼りになりました。保険料など控除後の手取りは月14万円弱となり、これで今後生活していくことに少々恐怖を感じました。

早速、防衛策を講じました。有料のテレビチャンネルを解約して、生命共済の解約、口数変更してと頭の中が高速回転です。まだまだ削らなければならないことはたくさんありそうです。

不足分を補充する政府のいうところの金融資

金(預貯金)もありませんのでこの上何か不測の事態が生じたらアウトです。もちろん岸田首相の言う金融から投資になどと言う政策に応じられるはずありません。

考えてみれば、時給1000円で働く非正規雇用の皆さんも同じような条件なんですね。年金生活者然り、日々の暮しに精一杯の国民がどのくらいいるのでしょうか。かつて石川啄木が「我が暮し 楽にならざり、じっと手を見る」とうたいました。私は今「明日は来るのか、じっと通帳残高を見つめる」という生活に突入しています。

何とかしてください、岸田さん。何とかしてください、野党の皆さん。